H23.3.1 版

道路台帳作成業務委託　特記仕様書

第１章　　総　　則

１．適用範囲

本特記仕様書は、静岡県及び静岡県知事の管理する道路を調査し、道路台帳を作成するための特記事項を示すものであり、特記事項になきものは、すべて契約書、設計図書、委託業務共通仕様書及び道路台帳作成要領に基づき実施しなければならない。なお、委託業務共通仕様書のうち、この調査に必要ない事項は適用を除外する。

２．資料の貸与返還

１）委託者（以下甲という。）は、受託者（以下乙という。）から既存資料の貸出の申し出を受けた場合に、これに関する資料を貸与する。

２）乙は、使用後の資料を速やかに甲に返還しなければならない。

３．身分証明書

１）乙は、甲から道路台帳調査に従事する者の身分証明書の交付を受け、調査に従事する者に常時これを携帯させなければならない。（道路法第６６条）

２）乙は、他人の占有する土地に立ち入って地形及び物件を調査する場合、関係人の請求があれば、これを呈示し、親切に応対し、摩擦や紛争を起こさぬようにしなければならない。

３）乙は、調査後速やかに、これを甲に返却しなければならない。

４．調査施行の原則

乙は、調査しようとする土地及び物件の所有者、その他の権利者及び関係ある他の官公署と強調を保ち、正確かつ誠実に調査しなければならない。

５．成果品

１）道路現況図　　１式（Tiff 画像）及び複写２部（白焼き）

２）道路占用平面図　　１式（Tiff 画像）及び複写２部（白焼き）

３）道路台帳調書

イ．道路台帳総括表　　１式及び複写２部

ロ．道路現況調書　　１式（幅員図は Tiff 画像）及び複写２部（白焼き）

４）その他野帳類

５）作業実施記録

６．作業実施記録

乙は、台帳図面の Tiff 化にあたり、作業プロセス・期間・使用した機器およびソフトを記録に残し、作業項目別に整理した結果を作業実施記録として成果品に添付すること。

７．その他

Tiff 画像納品される図面画質については、貸与 Tiff 画像と同等程度とする。

成果品は、すべて甲の所有とし、甲の承認がなくして他に公表、貸与、複写等してはならない。

第２章　　測　量　調　査

１．調査の範囲

測量調査の範囲は、契約設計図書のとおりとし、その起終点は監督員が指示するものとする。

２．市町村界

市町村界は、甲が関係市町村と綿密に調査したうえ確認し、行政名を当該地に記入するものとする。

３．準備

乙は、調査に先立ち、調査に必要な以下の参考資料を収集するとともに、調査の目的を十分に理解し、土地立ち入り等についても地元住民と十分協調を保つように心掛けなければならない。

参考資料：住居表示新旧対照表、都市計画街路網図、関係公共団体及び関係企業等の道路占用図書、その他指定の資料

４．路程測量

距離測定の間隔は、原則として１００ｍとし、曲線半径３０ｍ以下については、曲線測定し図面等に記入するものとする。

５．縦断測量

縦断測量は、縦断勾配が８％以上の箇所について測定し図面等に記入するものとする。

６．道路現況平面図

平面測量は複導線法によって、平面上で多角測量を行うものとし、その一片の長さは５０ｍ未満とする。地形地物は光線法によって求めるものとする。

７．等高線

等高線は原則として２ｍ間隔とするが、平坦な区域は１ｍ間隔とする。

８．杭の設置

路線の起終点及びブロック杭は、道路台帳の規準をなす重要なものであるため、乙は、監督員立会いのうえ設置するものとする。

９．公図転写

乙は、契約書に基づき甲が管理している土地及び隣接している土地について、当該土地を管轄する地方法務局または、その支局若しくは出張所（以下「管轄登記所」という。）に備えてある公図を転写し、公図の着色に従って着色するとともに、次の各号に掲げる事項を図面に記入するものとする。

１）方位、縮尺、市町村名、大字名、字名、地番及び地目

２）隣接字名

３）転写年月日及び管轄登記所名

１０．土地登記簿の調査

乙は、道路区域内の土地について、管轄登記所の土地登記簿より次の各号に掲げる事項を調査し、公図写しに記入するものとする。

１）地目及び地積

２）所有者の氏名または代表者の氏名

第３章　　検　　査

１．検査

検査は、特記仕様書、契約設計図書、委託業務共通仕様書、道路施設現況調査提要、道路台帳作成要領に基づき実施するものとする。また、乙は現場代理人及び主任技術者を検査に立ち会わせるとともに、必要な資料を提出しなければならない。

１）中間検査

作業中の適当な時期に中間検査を行うことが出来るものとし、主として作業方法の指示、墨入れ前の平板素図と現況との照合等を目的に行うものとする。

２）竣工検査

竣工検査は、成果品全種について行うものとする。

２．検査の方法

検査は、任意の点の抜き取りで以下の各号に掲げる事項について行うものとし、その率は２０％程度とする。

１）現地との照合検査

２）隣接図との接合部点検、図上の数値の点検透写ずれの点検及び誤記の点検

３）凡例との照合検査

３．検査結果

検査の結果、上記第２項１．２．３．を満足しないもの、その率が２０％未満の場合修正補足を、２０％以上の場合その内容により全域再測又は写図等を甲は乙に命ずるものとする。

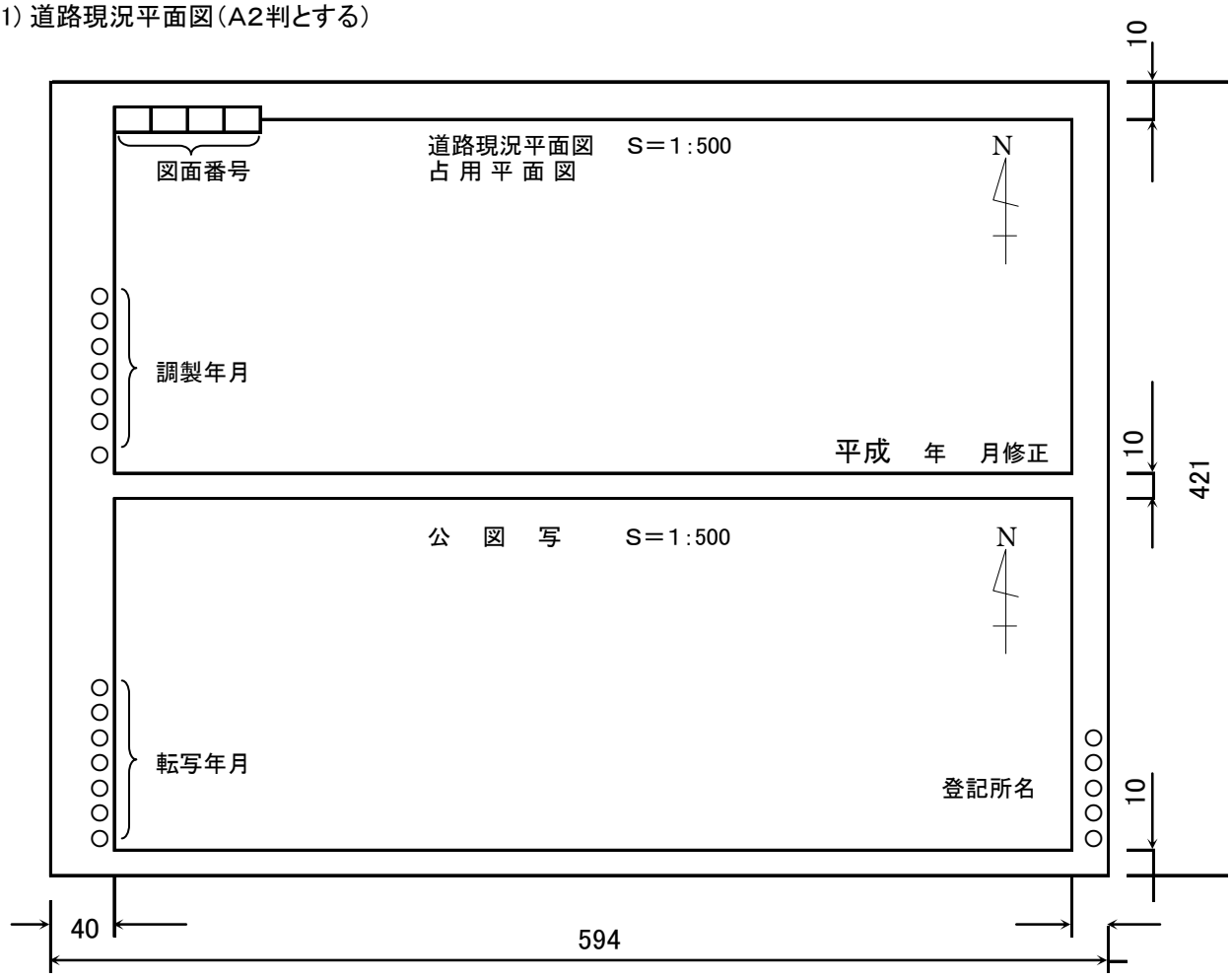
４．検査後の誤記の取扱

検査終了後において、著しく現況と形状寸法、観測値、測距値及び計算値等に誤りを発見した場合は、乙の負担において補足又は修正を行うものとする。

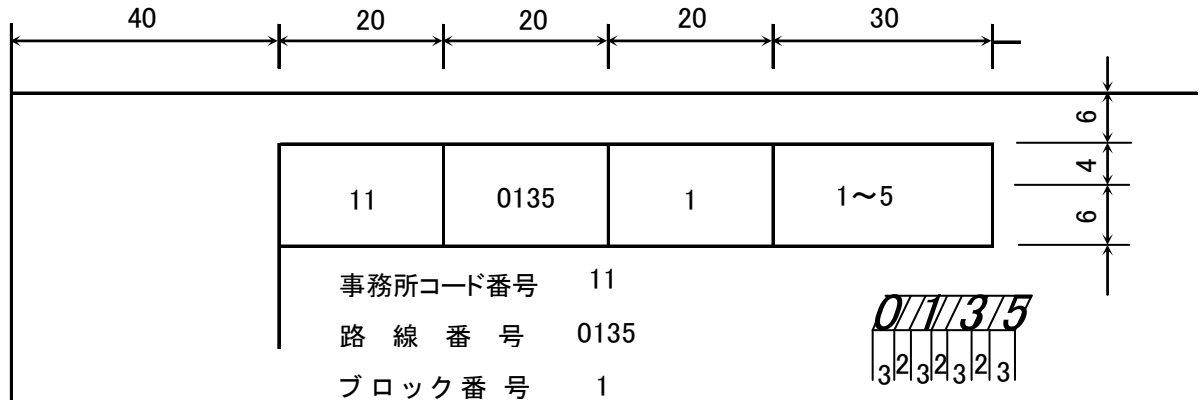
第4章　図 式 及 び 記 号

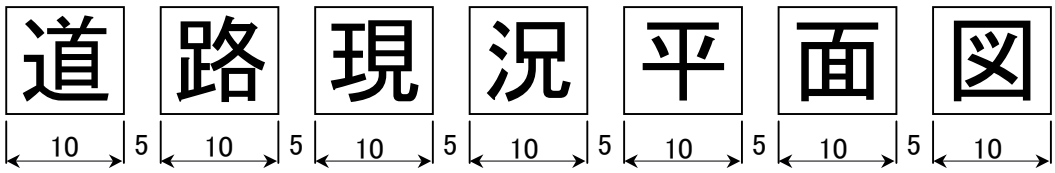
1. 図　　式

1) 道路現況平面図（A2判とする）

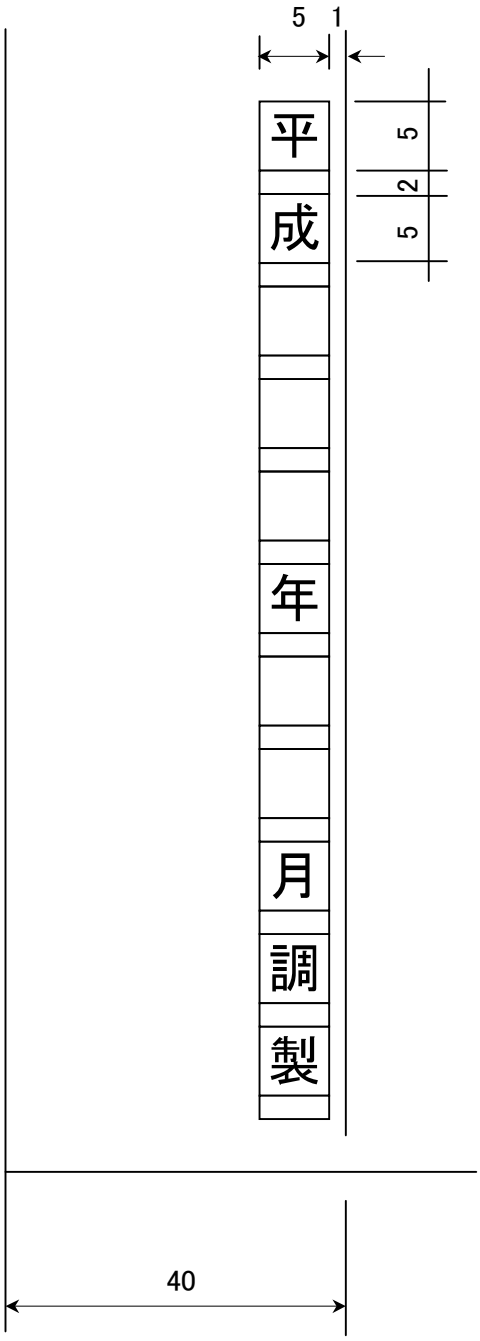


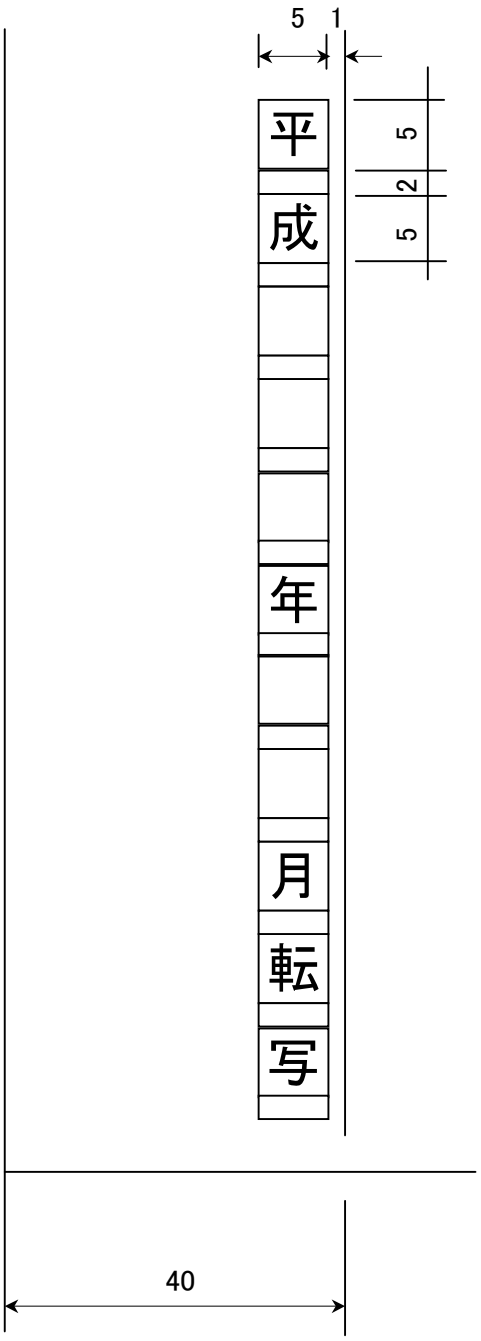
図面名称及び整理番号



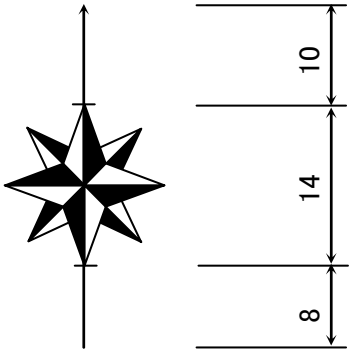

道 路 現 況 平 面 図
10 5 10 5 10 5 10 5 10 5 10 5 10

調整年月及び登記所名

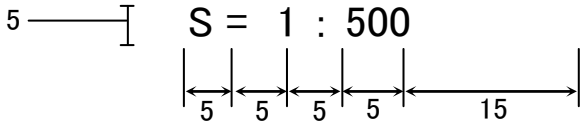

5 1
平
成
年
月
調
製
5
2
5
40


5 1
平
成
年
月
転
写
5
2
5
40

方　位

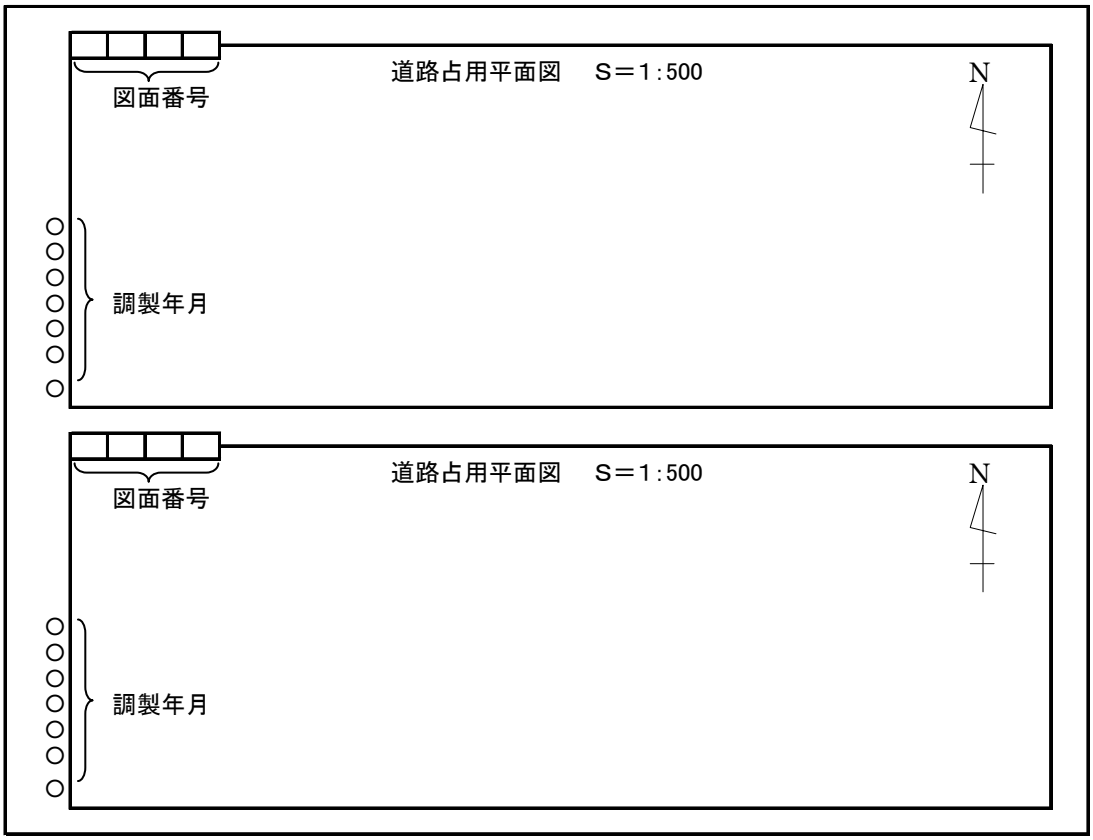


縮　尺



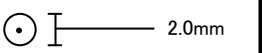
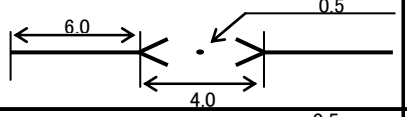
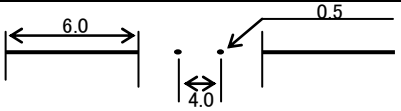
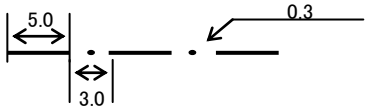
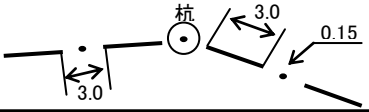
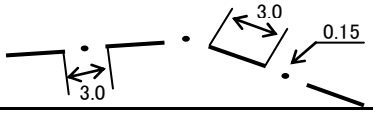
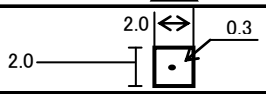
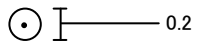
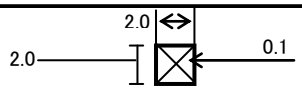
2) 道路占用平面図（A2判とする）

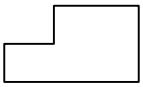
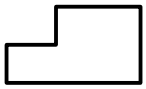
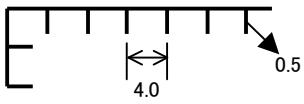
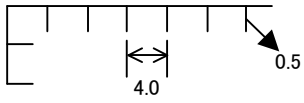
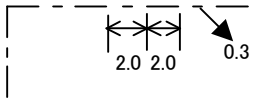
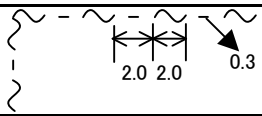
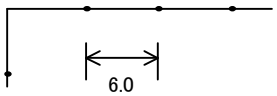
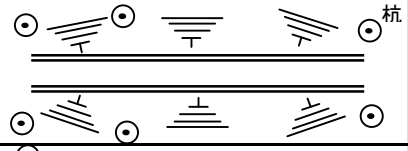
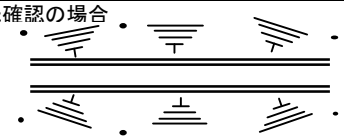
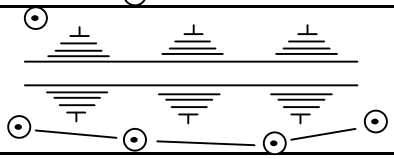
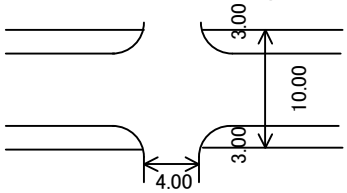
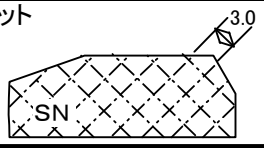
道路現況平面図の写（第2原図）とする。



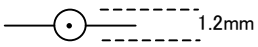
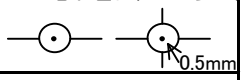
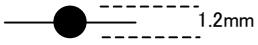
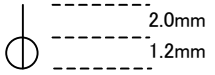
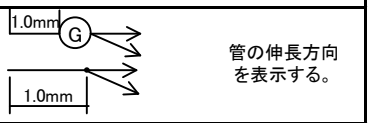
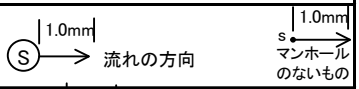
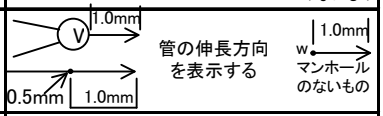
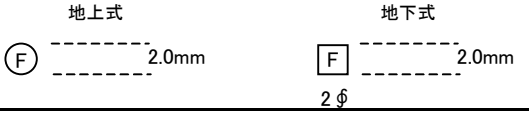
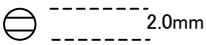
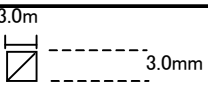
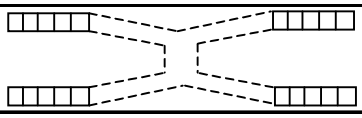
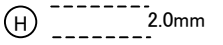
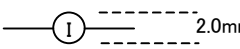
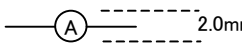
2. 記　　号

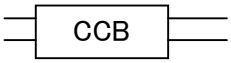
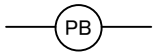
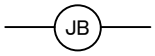
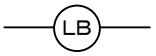
(1) 道路現況平面図図式

区分		字隔 mm	字隔 級数	記号	線巾	記号の表示の方法又は図例
測点		2.0			0.20	
用地杭					0.20	確認できるもの
郡市		4.5	20			直立線等線体で表示
町村		4.0	18			直立線等線体で表示
大字（市内の町）		3.5	16			直立線等線体で表示
字・丁目		3.0	14			直立線等線体で表示
諸建造物		2.5	12			（施設等の名称）
道路・鉄道・河川・駅		3.0	14			
トンネル、橋梁名		3.0	14			
境界線	市町村界				0.40	
	大字界				0.40	
	字界				0.30	
	用地界				0.15	用地界と道路区域が一致しない場合は双方区別し表示する。
	未確定用地界				0.15	
基準点	三角点				0.20	標高を表示する（小数第2位）
	水準点				0.20	標高を表示する（小数第3位）
	多角点				0.20	標高を表示する（小数第2位）
	ブロック杭				0.20	標高を表示する（小数第2位）

区分		字隔		記号	線巾	記号の表示の方法又は図例
		mm	級数			
家屋	家屋				0.20	一時的な仮設物は表示しない。
	無壁舎				0.20	
	鉄骨又は鉄筋コンクリート建築				0.30	
構囲	コンクリート・レンガ・ブロックべい				0.30	
	木へい				0.15	
	垣・柵				0.15	
	生垣				0.15	
	有刺鉄線				0.15	
道路	切土部				0.15	未確認の場合 
	盛土部				0.15	
	道路幅員				0.15 0.10	歩道、中央分離帯、交通島、歩道橋、植木枡、並木等は真巾、真形、真位置で表示する。
	法覆工			吹付 	0.15	ネット 

区分		字隔		記号	線巾	記号の表示の方法又は図例
		mm	級数			
側溝	U型側溝	2.0	10	U 3.0 4.0 3.0 型 2.0	0.15	
	L型側溝	2.0	10	L 3.0 4.0 3.0 型 2.0	0.15	
	レ型側溝	2.0	10	レ 10.0 型 2.0	0.15	
	有溝				0.15	点線で表示する。
	U字トラフ	2.0	10	U 3.0 4.0 3.0 2 2.0	0.15	U 3.0 4.0 3.0 3
被覆	雑割石積 ブロック積			1.0 1.0	0.20 0.10	
	野面石積			1.2	0.20 0.10	
	コンクリート壁			3.0 0.4	0.20	小 3.0 0.1 0.4
耕地	水田			1.5 2.0	0.15	原則として1区画に1個
	畑地			2.5 2.0	0.15	原則として1区画に1個
	茶畑			3.0 1.5 1.5 0.3		
	果樹			3.0 0.8 1.5		
未耕地	広葉樹			3.0 0.8 1.5		
	針葉樹			1.5 2.0		
	竹林			3.0 2.0		
	荒地			1.8 1.6		
防護施設	ガードレール			0.5 5.0	0.20	
	安全柵			0.5 5.0	0.20	SG
	ガードパイプ			0.15 5.0	0.20	
	駒止				0.15	真型

区分	記号 形状及び大きさ	線巾	記号の表示の方法又は図例
電柱		0.15	その他の電柱 番号を旗上げ して記入 地下埋よりの立ち上り 
電話柱		0.15	番号を旗上げして記入
道路照明灯			番号を旗上げして記入
信号機		0.15	
アーケード類		0.15	歩道上にあるアーケード及び日よけ全て表示。
ガスマンホール		0.15	
電話マンホール		0.15	
下水マンホール		0.15	
上水マンホール		0.15	
消火栓		0.15	
防火用井戸		0.15	
防火用地下水槽		0.15	
地下歩道		0.15	
温泉		0.15	
電気マンホール		0.15	
工業用水		0.15	
農業用水		0.15	

種類	占用平面図	幅員図	備考
キャブ		L−CAB R−CAB	
ミニキャブ		L−MCAB R−MCAB	
電線共同溝		L−CCB R−CCB	
自治体管路		L−PB R−PB	
情報BOX		L−JB R−JB	
共同溝		L−CB R−CB	地上部 —————— 地下部 ----------
光ケーブル		L−LB R−LB	

※幅員図　左側：L−右側：R−
※各種類に入溝されている管路の種類については、幅員図には必ず記入してください。
　記入例　幅員図：L−CCB(E,T,…)